

蛋白分画				333500	
				担当部署	
TP ブンカ				一般	
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			特記事項なし		
検査受付時間			8 : 15 ~ 16 : 00		
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項			該当なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料	10 青	分離剤	1	mL
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1) 採取容器違いの検体 2) バーコードラベルの貼られていない検体 3) 量不足 4) 粘性のある検体		
保管検体の保存期間			2℃から 8℃冷蔵保存 14 日（追加検査については検査室に要問合せ）		
<b>検査結果・報告</b>					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		1～7 日			
生物学的基準範囲		Alb : 54.8%～65.4% α1 : 2.3%～3.8% α2 : 5.0%～8.9% β : 9.0%～14.6% γ : 13.2%～23.9% EX 一般 211 : 「クイックジェル SP 血清蛋白分画測定操作法」			
臨床判断値		該当なし			
基準値				単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		アルブミン、α1、α2、β、γ分画に分類され、アルブミンとγ分画以外のα1、α2、β分画はそれぞれ多数の蛋白成分から構成されている。これらの蛋白成分の易動度は、膜の種類や泳動条件によってかなりの変動があるが、一定の条件で行えば、泳動パターンと分画比は各種の病態に特徴的な変化を示す場合があり、また特異な泳動像（M タンパク）から重要な情報が得られるために、血清タンパク異常のスクリーニングとして不可欠な検査である。 EX 一般 212「臨床検査法提要改訂第 31 版：481.1998」			